

岡山県倉敷市にて製油所および造船所見学会を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

同プロジェクトの一環として、一般社団法人日本造船工業会と共に、JX エネルギー株式会社ならびにサノヤス造船株式会社のご協力のもと、8月18日（木）に岡山県倉敷市に於いて、JX エネルギー『水島製油所』&サノヤス造船『水島製造所』の見学会を開催し、親子連れを含む計 21 名が参加しました。

水島製油所では、国内最大の原油処理能力であることやガソリンやプラスチックなど日常生活に欠かすことのできない製品を製造していること、製品の元となる原油は東京タワーの高さ（333m）とほぼ同じ大きさの巨大船（約 340m）により海外から運ばれていることなどの説明を受けるとともに、東京ドーム約 30 個分の広さの構内を見学しました。また、構内の地下約 180m にある LPG 国家備蓄基地向けに LPG 船が着棧しており、岸壁から荷役の様子も見学することができました。



水島製造所では、船が組み立てられる前のブロックや塗装・溶接などの建造現場を間近に見ることができ、国民の生活を支えている船がどのように建造されているのか、間近で見ることができました。

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



荷役中の LPG 船を見学する参加者（左）および 800t グライアスクレーンを背景に記念写真（右）